

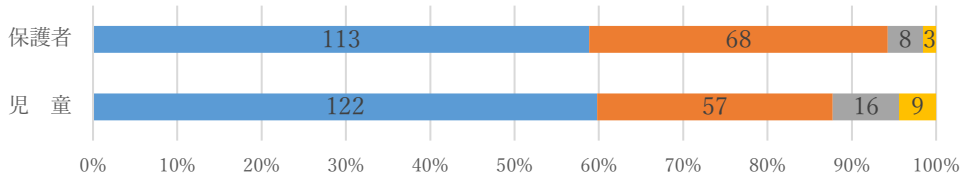
令和7年度 古川西小学校 学校評価 保護者アンケート

ご協力いただいたアンケートにつきまして、結果と共に今後の方向を報告いたします。
(児童アンケートに同じ項目があったものについては、その結果も記載しています。)

■ あてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ どちらかといえばあてはまらない ■ あてはまらない

① お子さんは、楽しく学校に通っている。

学校は楽しいですか。

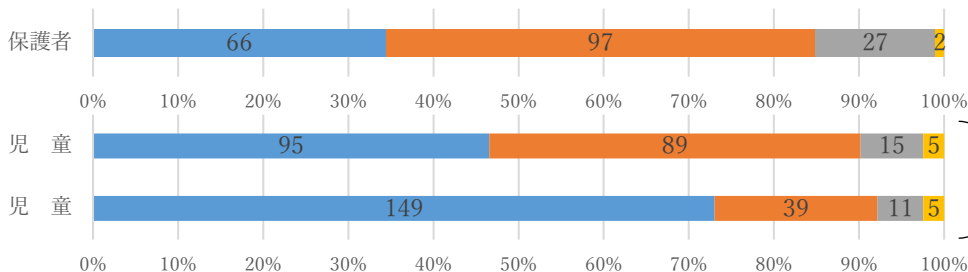


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは約95%です。児童調査では約88%です。楽しく過ごす児童が多くいますが、何らかの理由で楽しくない児童もいます。より、一人ひとりに寄り添い、頑張りを認めていきながら、どの児童も「学校が楽しい」と感じられるように、安心して過ごせる居場所づくり、良好な人間関係の構築、自分らしさが発揮できる学級・学校づくりを進めていきます。

② お子さんは、授業が楽しいと感じている。

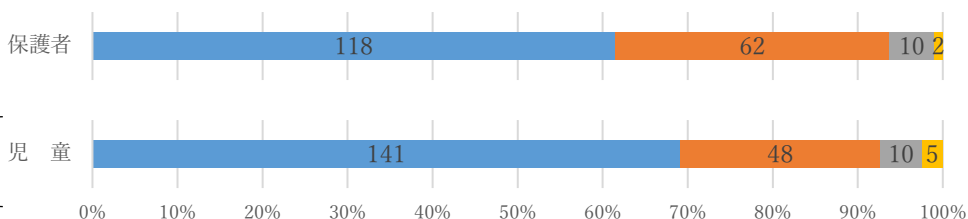
みんなで何かをするのは楽しいですか。

授業の課題に向かって進んで取り組んでいますか。



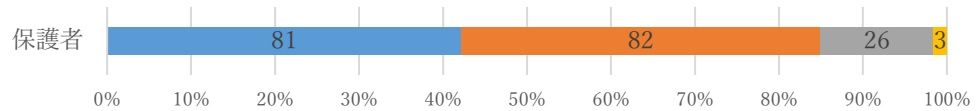
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは、「授業が楽しい」「授業がわかる」ともに約85%となっています。児童調査では、「みんなで何かをするのは楽しい」と答えている児童が90%以上、「授業に進んで取り組んでいる」児童も約90%です。また「授業がわかる」と答えた児童は約83%です。今後も、児童が「やりたい」「わかった」「やってよかった」と感じる授業づくりをすすめ、仲間とともに学習を進めながら、「わかった」と思えるようにしていきます。さらに、自分の考えを発信できる機会を設け、表現力を高めていきます。

④ お子さんは、地域のことを学ぶ学習や、地域の人から学ぶ学習を楽しんでいる。



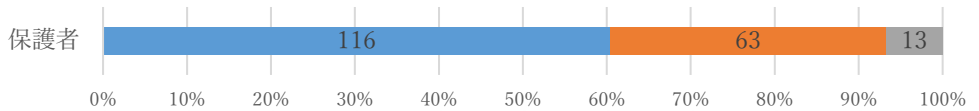
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは約95%であり、児童調査でも約93%で良好と言えます。今年度のふるさと学習も、地域の方々にご協力をいただきながら、ふるさとについて学び、学んだことを発信しふるさとを愛し、地域に貢献する姿をめざして実施してきました。今後も地域の人とつながり、より多様な体験を通してふるさとに誇りを持ち、自分の可能性を広げて多様な場で活躍する児童を育てていきます。

⑤お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている。

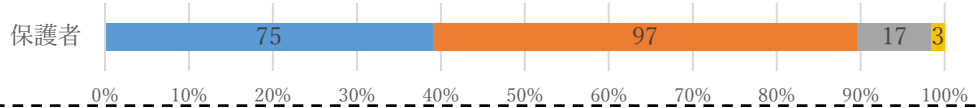


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは約86%です。各家庭でお子さんの学習を見届けていただいています。自分で進める力を付けることは、将来を切り拓くための大きな武器となります。学校と家庭が同じ方向を向いて支えていくことで、一人ひとりの力がつきます。今後も、粘り強い支援や見届けをよろしくお願いいたします。

⑥お子さんは、家庭であいさつをしている。

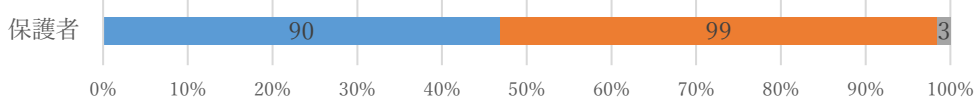


⑦お子さんは、地域であいさつをしている。

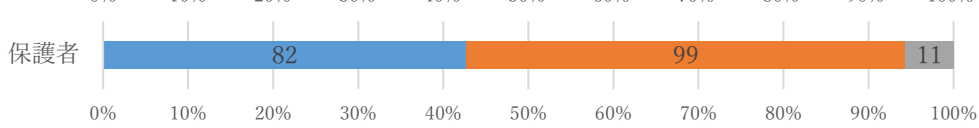


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは、家庭が約93%、地域が約89%です。おおむね良好です。挨拶ができることは、より良い人間関係を構築するもととなります。学校でも挨拶の意味を伝えたり、児童委員会でも取り組んだりして繰り返し指導をしていきます。家庭でもあいさつする意味をお子さんに伝えていただき、いつでも、どこでも、誰にでも挨拶ができる子を育てていきたいと思えます。

⑧私（保護者）はお子さんをほめている。

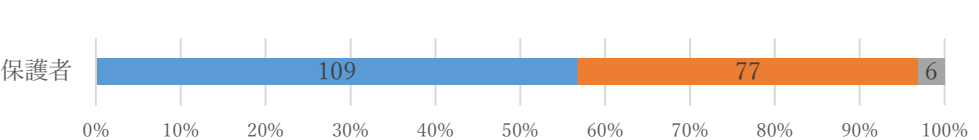


⑨私（保護者）はお子さんと話す時間をとっている。

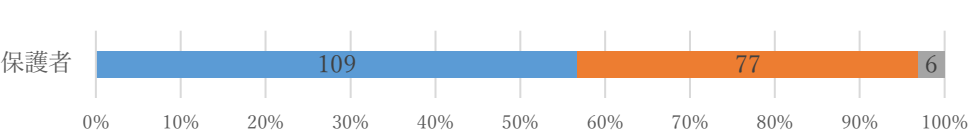


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは、どちらの項目も95%以上と非常に高い回答でした。これは、保護者の皆さまがお子さんと温かく向き合い、心安らぐ家庭の中で自己肯定感を育てていただいているからだと感じています。今後もお子さんとの温かい関わりをよろしくお願いいたします。

⑩学校の様子をわかりやすく伝える(通信・懇談等)。

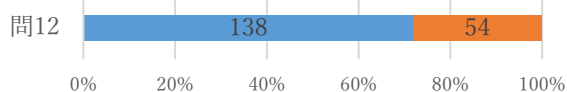


⑪子どもの気持ちや保護者の心配事等に対して丁寧に対応している。

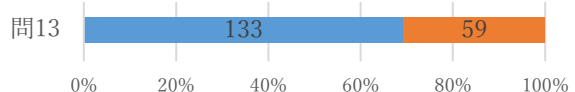


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたポイントは、どちらの項目もほぼ95%以上と非常に高い回答でした。今後も引き続き、子どもたちの学校生活の様子を発信していきます。また、お子さんの心配事に対して、全職員一丸となって丁寧に対応していきます。また、特別支援教育や校内教育支援センター(ほっとルーム)の充実を図り、一人ひとりが安心して過ごせるよう支援していきます。

⑫お子さんは、家や地域等で気づいて動いている。



⑬家や地域などで仲間とともに行動している。



「ある」と答えた方が両方とも約65%でした。良いと感じたことを自分から気づいて動ける姿は、自分で考えて動く姿につながります。また、仲間とともに行動できる姿は、困った時に適度に頼ることができる関係作りになります。学校でもこの値打ちや行動についての価値づけを繰り返しながら高めていきます。